

多世代共生型の持続可能なまちづくりプロジェクト

～地域に開かれたサービス付き高齢者向け住宅と新しいマネジメントの仕組み～ / 神奈川県横浜市

コミュニティマネジメントによる多世代共生型 持続可能なまちづくりプロジェクトの提案

- 高齢化が進行する郊外住宅団地で、認知症対応デザインの高齢者向け住宅等、多世代向けの様々な住宅を供給、子育て世帯や高齢者の生活をサポートする施設の整備
- 認知症対応デザインの高齢者向け住宅、周辺と連携したコミュニティマネジメントの仕組み等の検証
- 認知症対応デザイン、コミュニティマネジメントの仕組みを公開し、地域活動や将来のエリアマネジメントにつなげる

事業概要

代表提案者: 東急不動産株式会社
 共同提案者: 東京急行電鉄(株)
 エヌ・ティ・ティ都市開発(株)
 総事業費: 39.5億円(国費: 2.4億円)
 補助事業: ○住宅 新築
 ・分譲住宅、高齢者向け住宅、戸建住宅
 ○施設 新築
 ・子育て支援施設、高齢者サービス施設(デイサービス、定期巡回随時対応型訪問介護看護事業所)、生活支援施設(ミニスーパー、カルチャールーム、コミュニティカフェ)、交流施設(コミュニティスペース)


○多世代向けの住宅整備とマネジメントの仕組みづくり

地域と連携するエリアマネジメントの実践により、コミュニティの活性化を図ります。



エリアマネジメントによる地域連携の促進

住まいのマネジメントにより、多世代住宅地として維持するとともに、広域での住み替えや近居を実現します。



住まいのマネジメントによる多世代居住の実現

子育て支援



医療・福祉サービス



買い物サービス




地域ぐるみの防犯



文化・教養・健康増進



エリアマネを通じたブランド化